REC NEWS LETTER

Vol. 7

発行日：2007 年 4 月 25 日
Ryukoku Extension Center



REC 滋賀
（瀬田学舎　REC ホール）



REC 東大阪
（クリエイション・コア東大阪）



REC 京都
（深草学舎　紫光館）



河嶋　壽一　ＲＥＣセンター長　就任の挨拶



このたび、大柳　満之教授の後任として、龍谷エクステンションセンター（REC）センター長に就任いたしました、河嶋　壽一（かわしま　ひさかず）です。よろしくお願い申し上げます。

REC では、1991 年の設立以来、コミュニティ・アイデンティティ（地域をどう認識するか）ということを重要視してきました。大学の持つ資源を地域に還元する活動にとどまらず、地域の人材や資源を本学の教育や研究に活用した上で、その成果をさらに改めて地域に還元するという双方向型のサイクルが、本学のエクステンション（普及）活動の基本理念であります。

この「REC NEWS LETTER」は、学内の皆様に、REC の事業の現状や抱えている課題等について情報発信し、広くご理解いただくことを目的として発行してきました。REC の活動には、「生涯学習事業の展開」、「産官学連携事業の展開」、「施設開放の展開」、「学生ベンチャー育成事業の展開」、「福祉フォーラムの展開」、「知的財産センターとの連携による知財に関する取り組み」などがあり、教員の皆様には日頃よりご尽力、ご協力をいただいております。大変ありがたく、厚く御礼申し上げます。

2007 年度から 2009 年度までは、龍谷大学第４次長期計画（2000～2009 年度）の総仕上げの期間として、重点政策の一つである「社会連携政策」を更に推進することをめざしています。今後とも、REC に対して、より一層のご理解、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご案内　ＲＥＣコミュニティカレッジ大阪＆東京のご案内



「REC コミュニティカレッジ」では、深草・瀬田・大宮のそれぞれの学舎を中心に、市民向けの生涯学習講座を開講しています。この他にも 2005 年度からは東京会場で、そして 2006 年度からは大阪会場で、より多くの地域の方々に本学の取り組みを知っていただこうと「REC コミュニティカレッジ」を開講しています。2007 年度前期に開講する大阪＆東京での講座についてご案内いたします。

REC コミュニティカレッジ大阪（会場：TWIN21・MID タワー20 階会議室）
◆シリーズ：親鸞聖人を読み解く◆
5 月 12 日（土）「親鸞聖人の教えと実践」（林　智康　文学部教授）
6 月 2 日（土）「世界的な視野から見た親鸞聖人」（嵩　満也　国際文化学部教授）
7 月 14 日（土）「親鸞聖人の生きた時代」（岡村　喜史　文学部准教授）



REC コミュニティカレッジ東京（会場：朝日生命大手町ビル 24 階 E 会議室）
◆シリーズ：京都の地名散策　～風土・歴史・文化を読む～◆
5 月 26 日（土）「京都の地名、おもしろ学」（糸井　通浩　本学名誉教授）
6 月 30 日（土）「平安京の地名・町名を語源から見る」（吉田　金彦　京都地名研究会会長）
7 月 28 日（土）「伏見の歴史と地名を訪ねる」（岩田　貢　法学部教授）

お知らせ

学生ベンチャー育成プログラム　講演会＆パネルディスカッション

「起業家が大学生に送るメッセージ～僕たちは何故挑戦したのか～」

学生ベンチャー育成プログラムでは、「起業」をキーワードに、学生と社会を実践的に結びつける様々な機会をとおして、新しい目標や課題に対して積極的にアイディアを出し、企画・実行していく能力やチャレンジ精神など、起業家的資質・能力の習得をめざしています。今年度最初のプログラムとして、以下の講演会＆パネルディスカッションを企画しています。ゼミ等の学生さんにご周知いただければ幸いです。

- **◆ 日　時：2007 年 5 月 9 日（水）　15：00～17：15　（場　所：深草学舎 21 号館 301 教室）**
- **◆ 内　容：基調講演：株式会社あきない総合研究所　吉田 雅紀 氏 「ベンチャーという戦場で戦う挑戦者たち」**
  パネルディスカッション：「起業家が大学生に送るメッセージ　～僕たちは何故挑戦したのか～」

お知らせ

福祉フォーラム　２００７年度前期　公開講座

「共生塾」を開講します！！

福祉フォーラムでは、「共生塾」という名前で今年度より公開講座（前期・後期　各 5 回程度）をスタートします。共生塾は、福祉フォーラム会員に限らず一般の方や本学学生など、どなたでもご受講いただけます。

前期は以下のとおり開講します。詳細は、後日、ホームページやポスターにてお知らせします。ご期待ください。

- **◆ テーマ：「日本における福祉のまちづくりモデルの教訓と課題－鷹巣長の検証」（仮）**
  講師：大友　信勝　社会学部教授・福祉フォーラム会長
- **◆ 日　時：2007 年 6 月 2 日（土）・6 月 30 日（土）・7 月 28 日（土）　13:30～17:00**
- **◆ 場　所：瀬田学舎　6 号館プレゼンテーション室**

詳しくは、福祉フォーラム HP（http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/）をご覧ください。

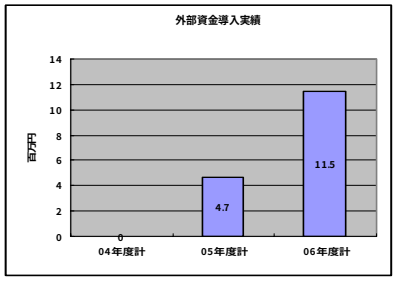
ご報告

ＲＥＣ東大阪だより

～最近のＲＥＣ東大阪 産学連携活動状況～

2004 年 8 月、REC が東大阪に進出以来、2 年半を経過しました。クリエイション・コア東大阪には、関西 13 大学に加え、昨年秋より東北大学も入居し、東大阪主体に産学連携の活動を展開しています。14 大学の取り組みは様々で、産学連携を突破口に大学改革に挑んでいる大学や、教育と研究の狭間で時間が取れず、産学連携の意義を見つけられずに悩んでいる大学もあります。REC 東大阪では、企業ニーズと大学シーズとの調和を図り、大学と連携を希望している企業との間で研究会(現在 5 つの研究会を運営中)を組織し、本学と企業の成長を夢見て、大阪府や近畿経済産業局などの競争的資金を研究開発資金として獲得すべく産学連携事業のコーディネート活動を行っています。公募事業には、研究予算の獲得に加え、研究の工程管理が必要で、大学にあってはやや不得意な、研究を計画的に遂行するという意味でも効果がありました。今後は、研究の中身を深め効率的に研究を進めるべく、企業の研究マンパワーをより期待し、他者にない独創的で社会に有益な産学連携の実現を視野に入れたいと思っています。

また、これまで瀬田や深草学舎から学生達が見学・実習に来てくれました。今後も大学の教育・研究の活性化を図るべく、産学連携の推進に向けて東大阪を積極的に活用・支援いただききますようお願い申し上げます。



▲中小企業からの産学連携の研究資金として外部資金導入額の実績



▲大阪の中小企業の社長さん達と信楽焼の会社社長のお話を聞く(2007.3 研修旅行で)

～ お詫び ～

Vol.6 の REC 事業にご協力いただいた先生のお名前で掲載漏れがありました。ここに深くお詫び申し上げます。

○産官学連携事業
下埜　勝　理工学部物質化学科 実験講師
／BIZ-NET 会員企業との共同プロジェクト

◆ 次号は 5 月 25 日頃発行予定です！ ◆

REC NEWS LETTER　Vol.7

編集 ： ＲＥＣ事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

- ＲＥＣ滋賀　　ＲＥＣホール（内線 7744）
- ＲＥＣ京都　　紫光館 5 階　（内線 6505）
- ＲＥＣ東大阪　クリエイション・コア東大阪
  産学連携ｵﾌｨｽ 2212 号（06-6748-8228）